

精神科領域専門医研修プログラム

(※以下、赤字箇所は注記事項です)

■ 専門研修プログラム名： 東北大学病院連携施設 精神科専門医研修プログラム

■ プログラム担当者氏名： 松岡 洋夫

住 所： 〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1 東北大学病院精神科

電話番号： 022 - 717 - 7262

F A X： 022 - 717 - 7266

E-mail： mtok-thk@umin.ac.jp

■ 専攻医の募集人数：(10) 人

■ 応募方法：

履歴書を下記宛先に送付の上、面接申し込み行う。

宛先：〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1 東北大学病院精神科

教授 松岡洋夫

TEL：022 - 717 - 7262

FAX：022 - 717 - 7266

担当者：松岡洋夫（教授）

■ 採用判定方法：

科長・医局長が履歴書記載内容と面接結果に基づき厳正な審査を行い、採用の適否を判断する。

I 専門研修の理念と使命

1. 専門研修プログラムの理念（全プログラム共通項目）

精神科領域専門医制度は、精神医学および精神科医療の進歩に応じて、精神科医の態度・技能・知識を高め、すぐれた精神科専門医を育成し、生涯にわたる相互研鑽を図ることにより精神科医療、精神保健の向上と社会福祉に貢献し、もって国民の信頼にこたえることを理念とする。

2. 使命（全プログラム共通項目）

患者の人権を尊重し、精神・身体・社会・倫理の各面を総合的に考慮して診断・

治療する態度を涵養し、近接領域の診療科や医療スタッフと協力して、国民に良質で安全で安心できる精神医療を提供することを使命とする。

3. 専門研修プログラムの特徴

東北大学精神科は、2016年に講座開設100年を迎えた。歴史と伝統をもち、高度な臨床から地域医療、多様な研究に至る幅広い領域において、精神医学の発展に多大な功績を残してきた。現在も、医局員は東北を中心に全国で活躍している。

基幹病院となる東北大学病院精神科は、40床（閉鎖病棟）のベッドを有している。隔離室（9室）、個室（11室）が多いのが特徴で、難治例、身体合併症症例、児童思春期症例、器質症例、中毒症例など全てのケースに対応している。専攻医は入院・外来患者の主治医となり、指導医の指導を受けながら看護師、心理士、精神保健福祉士らと密に連携し、各種心理検査・身体的検査を行い、精神療法、薬物療法など最善の治療を行っていく。研修の過程でほとんどの精神疾患、治療についての基礎的な知識を習得することが可能である。さらに、基礎的な内容にとどまらず、応用的な心理療法を学び、研究に参加して学会発表や論文執筆を行うこともできる。

連携施設は、公的な総合病院・精神医療センター、各地域の拠点単科精神科病院といった主要医療機関であり、専攻医はこれらの機関をローテートすることにより臨床医としての実力を向上させつつ、専門医を獲得するのに十分な症例を経験することが可能である。

東北大学精神科プログラムでは、臨床医としての実力向上とともに、リサーチマインドをもった精神科医を育成することを重視している。専攻医には、研修期間の当初から十分な臨床経験を積むとともに、症例検討会や抄読会で積極的に討論し研さんを重ねてもらう。また、研修期間中に症例報告や研究発表を院内発表会や学会で行ってもらう。

II. 専門研修施設群と研修プログラム

1. プログラム全体の指導医数・症例数

- プログラム全体の指導医数： 人
- 昨年一年間のプログラム施設全体の症例数

| 疾患 | 外来患者数（年間） | 入院患者数（年間） |
|--------|-----------|-----------|
| F0 | 7614 | 1809 |
| F1 | 3371 | 612 |
| F2 | 15829 | 4141 |
| F3 | 16392 | 1698 |
| F4 F50 | 8337 | 418 |

| | | |
|-----------------|------|-----|
| F4 F7 F8 F9 F50 | 6227 | 505 |
| F6 | 1428 | 111 |
| その他 | 1991 | 97 |

2. 連携施設名と各施設の特徴

(⇒ 施設名（国・公・私立などの設立形態、院長名など）、担当者名、連絡先、教育に関する委員会構成、研修指導医の名前、精神医学・医療における専門性等記載してください。

主に研修プログラム整備基準 23-25, 31 番を参照して、ベッド数、疾患別入院数・外来数、疾患特徴などとともに、その施設の特徴を以下に記載してください)

A. 研修基幹施設

- ・施設名：東北大学病院
- ・施設形態：公的病院
- ・院長名：八重樫 伸生
- ・プログラム統括責任者氏名：松岡 洋夫
- ・指導責任者氏名：松岡 洋夫
- ・指導医人数：(7) 人
- ・精神科病床数：(40) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数（年間） | 入院患者数（年間） |
|-----------------|-----------|-----------|
| F0 | 363 | 12 |
| F1 | 105 | 6 |
| F2 | 430 | 55 |
| F3 | 655 | 61 |
| F4 F50 | 862 | 19 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 99 | 12 |
| F6 | 114 | 4 |

| | | |
|-----|-----|----|
| その他 | 668 | 25 |
|-----|-----|----|

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）当院は、1183 床を有する大規模な総合病院であり、精神科も 40 床有している。隔離室（9 室）、個室（11 室）が多いのが特徴で、大学病院としては非常に高いアクティビティーで診療しており、難治例、身体合併症症例、児童思春期症例、周産期症例、器質症例、中毒症例、リエゾン・コンサルテーション、精神科救急（措置入院を含む）など幅広く精神科臨床を経験できることが特徴である。また、専門外来として、早期精神病外来、児童思春期外来、周産期外来なども行っており、専門的な治療を経験することも可能である。毎週月曜日、火曜日に症例検討会や抄読会など幅広いテーマに関して勉強会を開催しており、専攻医は臨床、研究、教育など多面的な研修を行うことが可能である。

B. 研修連携施設

（※ 5 つ以上の連携施設がある場合には、以下に行を増やし、記載してください）

1. 施設名：いずみの杜診療所

- ・施設形態：診療所
- ・院長名：吾妻 淳一
- ・指導責任者氏名：山崎 英樹（法人理事長）
- ・指導医人数：（ 1 ）人
- ・精神科病床数：（ 0 ）床（BPSD 対応用に緊急ショート枠 4 室を稼働）
- ・疾患別外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数（年間） | 入院患者数（年間） |
|-----------------|-----------|-----------|
| F0 | 876 人 | 0 |
| F1 | 36 人 | 0 |
| F2 | 604 人 | 0 |
| F3 | 30 人 | 0 |
| F4 F50 | 307 人 | 0 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 351 人 | 0 |
| F6 | | |

| | | |
|-----|--|--|
| その他 | | |
|-----|--|--|

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は精神科診療所として一般的な外来診療に加え、仙台市および富谷町より認知症疾患医療センターを受託しており、仙台市の認知症初期集中支援チームとしても活動しています。重度認知症デイケアと地域密着型介護老人保健施設、認知症グループホーム、地域包括支援センター等を併設し、認知症高齢者の地域生活支援はもちろん、BPSD の治療や看取りにも幅広く対応してきました。関連施設として県内に診療所や介護施設、精神科作業所等を広く展開しています。高齢化とともに急増する認知症は、すでに 500 万人ともいわれ、老年精神医学に精通する当院での研修はこれからの精神医療を学ぶ上で、必ず有意義なものになると考えます。

2. 施設名：医療法人 菅野愛生会 こころのホスピタル・古川グリーンヒルズ

- ・施設形態：単科精神科病院
- ・院長名：菅野 庸
- ・指導責任者氏名：青嶋 利明
- ・指導医人数：（ 2 ）人
- ・精神科病床数：（ 240 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|--------|---------------|---------------|
| F0 | 72 | 89 |
| F1 | 32 | 16 |
| F2 | 414 | 182 |
| F3 | 434 | 90 |
| F4 F50 | 7 | 1 |

| | | |
|--------------------|-----|----|
| F4 F7 F8 F9 F50 | 304 | 33 |
| F6 | 10 | 0 |
| その他 | 323 | 1 |

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は 240 床の精神科病棟を有する精神科専門病院であり、うつ病、認知症、摂食障害、児童精神科と多彩な疾患、症例を経験することが可能である。また、措置指定病床も有し精神鑑定も含め司法精神医学にも取り組んでいます。

3. 施設名： 医療法人有恒会 こだまホスピタル

- ・施設形態： 単科精神科病院
- ・院長名： 門間 好道
- ・指導責任者氏名：門間 好道
- ・指導医人数：(5) 人
- ・精神科病床数：(330) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|--------------------|---------------|---------------|
| F0 | 1495 | 139 |
| F1 | 118 | 26 |
| F2 | 1168 | 185 |
| F3 | 1944 | 180 |
| F4 F50 | 1728 | 46 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 1784 | 59 |
| F6 | 47 | 3 |

| | | |
|-----|-----|---|
| その他 | 115 | 0 |
|-----|-----|---|

・施設としての特徴

(扱う疾患の特徴多彩な症例が多く、外来診療には力点を置いています。MRI、CT等をはじめとする各検査機器の充実は診断に威力を発揮しオーブンの医師が指導にあたります。入退院は月 50～60 件あります。宮城県認知症疾患医療センターの指定を受けております。

4. 施設名：医療法人朋心会旭山病院

- ・施設形態：精神科病院
- ・院長名：近藤 等
- ・指導責任者氏名：近藤 等
- ・指導医人数：(3) 人
- ・精神科病床数：(100) 床
- ・疾患別入院数・外来数 (年間)

| 疾患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|--------------------|---------------|---------------|
| F0 | 596 | 26 |
| F1 | 43 | 5 |
| F2 | 260 | 94 |
| F3 | 301 | 30 |
| F4 F50 | 145 | 4 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 54 | 7 |
| F6 | 7 | 1 |
| その他 | | |

・施設としての特徴 (扱う疾患の特徴等)

当院は 100 床の精神科単科病院である。地域密着型の病院である。

近隣の市と町の認知症相談機関になっており、認知症の新患が多いが、2016年3月1日に宮城県認知症疾患医療センターの指定を受け、今後ますます認知症の診断、治療について実践的な経験を積むことが可能である。

5. 施設名：独立行政法人国立病院機構 花巻病院

- ・施設形態：独立行政法人国立病院機構
- ・院長名：八木 深
- ・指導責任者氏名：八木 深
- ・指導医人数：(1) 人
- ・精神科病床数：(141) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間（新患・新入院）

| 疾患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|----|---------------|---------------|
| F0 | 65 | 39 |
| F1 | 30 | 20 |
| F2 | 40 | 125 |
| F3 | 71 | 64 |
| F4 | 133 | 20 |
| F5 | 1 | 1 |
| F6 | 0 | 1 |
| F7 | 27 | 4 |
| F8 | 18 | 4 |
| F9 | 6 | 0 |

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

花巻病院は、精神科専門研修プログラム的一端を担い、岩手県で地域の中核病院として精神科救急を実践し、児童から老人まで幅広い疾患を扱い、保健所と連携し都市部とは異なる地域の訪問・往診医療を実施し、精神鑑定と医療観察法医療を実践し、専攻医が研修できる明確な専門性を有し、テレビ会議システムで、クルズスを実施している。花巻病院の専門研修指導医は、

精神科救急、法と精神医学に高い専門性を有し、指導医の指導の下、精神科救急症例、mECT実施とクロザリル処方やアルコールリハビリプログラムなど一般精神医療に加え、医療観察法入院医療の実際や精神鑑定の実験を経験できる。

6. 施設名：医療法人仁医会(財団) 釜石厚生病院

- ・施設形態： 精神病院
- ・院長名： 植 松 美 行
- ・指導責任者氏名： 植 松 美 行
- ・指導医人数：(3) 人
- ・精神科病床数：(204) 床
- ・疾患別入院数・外来数(年間)

| 疾患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|--------------------|---------------|---------------|
| F0 | 29 | 22 |
| F1 | 20 | 17 |
| F2 | 415 | 181 |
| F3 | 309 | 24 |
| F4 F50 | 156 | 5 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 12 | 1 |
| F6 | 0 | 0 |
| その他 | 26 | 6 |

- ・施設としての特徴(扱う疾患の特徴等)

当院の主たる対象となる釜石医療圏においては、人口減少と少子高齢化が進行しており、相対的に認知症を含めた老年期精神障害が多いが、当院としては、不登校をはじめ思春期の問題から高齢者の疾患まで、統合失調症はもとより多様な疾患に幅広く対応している。また、震災と被災後の生活からのストレスを背景としたうつ症状などへの診療も積極的に行っている。さらに、当法人が運営している地域活動

支援センターやグループホーム、その他の共同作業所、就労支援施設などとも連携して、社会復帰と地域生活支援にも力を入れている。

7. 施設名：岩手県立南光病院

- ・施設名：岩手県立南光病院
- ・施設形態：公立精神単独
- ・院長名：土屋輝夫
- ・指導責任者氏名：村川泰徳
- ・指導医人数：(5) 人
- ・精神科病床数：(382) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|--------------------|---------------|---------------|
| F0 | 192 | 47 |
| F1 | 90 | 15 |
| F2 | 1363 | 321 |
| F3 | 627 | 75 |
| F4 F50 | 383 | 30 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 919 | 69 |
| F6 | 26 | 5 |
| その他 | | |

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

岩手県立の精神科単科の病院です。一関市を中心とした両磐地域（一関市および平泉町）の唯一の精神科入院施設で、この地域の精神科医療を担当しつつ、岩手県精神科救急医療体制において県南圏域の常時対応施設となっています。このため症例が豊富にあり、措置入院症例から児童思春期の症例まで幅広い経験が可能です。「両磐精神医療連絡会」を開催し顔の見えるネットワークづくりを行っていること

から地域との関係が良好です。この関係を通して長期入院者の地域移行を積極的に行っています。県立の総合病院である岩手県立磐井病院が隣接していることからリエゾン・コンサルテーション精神医学の体験が可能です。クロザリル、デポ剤などによる薬物療法にも力を入れています。

8. 施設名：宮城県子ども総合センター

- ・施設名：宮城県子ども総合センター
- ・施設形態：公的機関・診療所
- ・院長名：本間 博彰
- ・指導責任者氏名：小野寺 滋実
- ・指導医人数：(2) 人
- ・精神科病床数：(0) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|--------------------|---------------|---------------|
| F0 | 0 | 0 |
| F1 | 0 | 0 |
| F2 | 7 | 0 |
| F3 | 19 | 0 |
| F4 F50 | 157 | 0 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 565 | 0 |
| F6 | 6 | 0 |
| その他 | 25 | 0 |

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、児童精神科の公的機関・診療所です。初診年齢を 15 歳以下に限定している関係上、対象疾患も偏っております。が、一般精神科では経験出来ない多くの症例を経験出来るメリットがあります。

上記を更に詳しく見て行くと、F4：153、F50：1、F5：2、F7：45、F8：230、F9：136と言う内訳でした。

また、当院では、全国でも珍しい子どもデイケア（対象：中学生以下）を行っております。また、自閉症家族教室（年2クール）もおこなっております。

また、当院は、宮城県中央児童相談所と同じ建物内にあり、連携を取って、子ども達のケアに当たっております。

更に、名取市の診療所以外に、県内3カ所の児童相談所（大崎市、石巻市、気仙沼市）内に出張診療所を設け、定期的に児童精神科診療を行い、県内全域をカバーしております。

9. 施設名：宮城県精神保健福祉センター

- ・施設形態：公的機関・診療所
- ・院長名：西條 尚男
- ・指導責任者氏名：小原 聡子
- ・指導医人数：（ 2 ）人
- ・精神科病床数：（ 0 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|--------------------|---------------|---------------|
| F0 | 39 | 0 |
| F1 | 51 | 0 |
| F2 | 2 | 0 |
| F3 | 0 | 0 |
| F4 F50 | 14 | 0 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 9 | 0 |
| F6 | 3 | 0 |
| その他 | 0 | 0 |

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

宮城県精神保健福祉センターは、精神保健福祉法に基づき設置されており、県の精神保健福祉における三次機関として仙台市を除く市町村を管轄する行政機関である。精神保健医療福祉の充実を目指して、資源の少なかつた県北の大崎市に設置された経緯がある。当診療所は宮城県精神保健福祉センターに併設しており、精神科デイケアも併設している。デイケアは若年層を対象としており、就労の前段階として生活リズムや対人スキルの習得などの支援を中心に行っている。また、当センターでは宮城県ひきこもり地域支援センターを担っており、相談業務に加えて当事者の居場所支援としてフリースペースを、家族支援として家族教室を実施しており、回復の段階に合わせた支援を提供している他、地域のネットワーク作りにも力を入れている。

地域精神保健活動としては、研修会等による人材育成から地域の処遇困難例に対するスーパーバイズ等の技術支援、自治体での精神保健福祉相談まで幅広く行っている。これらの活動を通して、東日本大震災後の住民の心の健康作りを考えてゆくことは当センターの大きな課題である。なお、精神医療審査会、精神障害者福祉手帳及び自立支援医療の判定に関する法定業務も行っている。

当センターは、このように幅広い活動を通じて地域精神保健医療福祉における精神科医師の役割を学ぶ事ができる機関である。

10. 施設名： 宮城県立精神医療センター

- ・施設形態： 公的病院
- ・院長名： 小高 晃
- ・指導責任者氏名： 大野 高志
- ・指導医人数：(3) 人
- ・精神科病床数：(2 5 8) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾 患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|-----|---------------|---------------|
| F0 | 64 | 11 |
| F1 | 41 | 9 |

| | | |
|-----------------|-------|-----|
| F2 | 1,669 | 364 |
| F3 | 558 | 135 |
| F4 F50 | 297 | 18 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 86 | 8 |
| F6 | 16 | 7 |
| その他 | 114 | 25 |

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は宮城県内唯一の精神科救急基幹病院として、スーパー救急病棟（精神科救急入院料病棟）を2病棟（99床）有している。精神疾患に対する救急医療を研修できるのが当院の最大の特徴である。また、昨年からは児童精神科ユニット（14床）を開設して入院治療にも対応できるようになっており、発達障害から精神病圏まで幅広い疾患の児童思春期精神医学を研修可能となった。さらに、活性度の高い心理社会的治療（精神科リハビリテーション）も当院の特徴の一つである。訪問看護ステーションを中心としたアウトリーチ医療も積極的に行っており、スタッフと一緒に利用者宅を訪問したり、利用者と一緒に作業療法やデイケアプログラムに参加したりするなど、多職種チーム医療を学ぶ機会も多い。宮城県内の精神保健相談業務の研修や県立がんセンターと連携したサイコオンコロジー研修も当院の特徴と言える。仙台地方裁判所など司法機関との勉強会も活発に行っており、精神鑑定など司法精神医学の研修も可能である。フットサルやバレーボール、バドミントン等を行うことができる体育館も完備されており、精神障害者とのスポーツ交流を通してスポーツ精神医学を学ぶこともできる。多彩な疾患と幅広い年齢層を対象として、利用者のより良いリカバリー（回復）を目指して多職種チーム医療を実践している点が当院の精神医療の特徴である。

11. 施設名：高松病院

- ・施設形態：民間病院
- ・院長名：高松幸作
- ・指導責任者氏名：高松幸生
- ・指導医人数：（ 5 ）人

- ・精神科病床数：(239) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|--------------------|---------------|---------------|
| F0 | 951 | 437 |
| F1 | 63 | 40 |
| F2 | 226 | 105 |
| F3 | 334 | 49 |
| F4 F50 | 290 | 13 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 15 | 0 |
| F6 | 2 | 0 |
| その他 | 71 | 4 |

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院では急性期治療病棟、精神療養病棟、認知症治療病棟を有し、急性期から慢性期、認知症疾患まで幅広く対応しております。特に認知症に関しては、認知症疾患医療センターの指定を受け、認知症専門外来を開設し、認知症の前段階（軽度認知障害）から重度の認知症まで幅広く治療に関わることができます。認知症の行動・心理症状の治療のため入院となる症例では、地域の医療機関、行政、家族会などの関係機関と密に連携することで、入院から退院後の生活支援まで学ぶことができます。また、当院では毎週医師を含めた多職種職員が集まり診断会議を開催し、新患症例の診断・治療について検討しております。自分が携わっていない様々な症例に触れることができ、多くの診断、治療方針について習得することができます。さらに、CT、MRI を完備し、月 1 回の画像カンファレンスを開催しているため、画像診断についても研鑽を積むことができます。身体合併症を有する症例に関しても、常勤の内科医と連携しながら積極的に対応しており、精神疾患のみならず内科的な知識の習得もできます。

指定・併設施設等：

認知症疾患医療センター、精神科救急輪番、精神科デイケア、介護老人保健施設、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、グループホーム、在宅介護支援セ

ンター、訪問看護ステーション、ホームヘルパーステーション、デイサービスセンター、生活訓練施設、認知症カフェ

12. 施設名：国見台病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：岩館敏晴
- ・指導責任者氏名：原田伸彦
- ・指導医人数：(6) 人
- ・精神科病床数：(296) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|--------------------|---------------|---------------|
| F0 | 116 | 14 |
| F1 | 35 | 3 |
| F2 | 986 | 171 |
| F3 | 827 | 36 |
| F4 F50 | 20 | 2 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 114 | 4 |
| F6 | 74 | 1 |
| その他 | 55 | 2 |

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

歴史ある精神科病院として、統合失調症を中心にした地域医療を展開し、近年は特に地域の社会資源との連携を強化している。一方、うつ病やストレス関連疾患など現代的な病理に対しても、ストレス外来や認知行動療法などを積極的に推し進めている。コメディカルスタッフも充実しており、チーム全体で治療を立案し実施するシステムを構築している。一方、医療観察法による鑑定や検察庁・裁判所からの依頼による精神鑑定例も豊富である。

13. 施設名：医療法人 移川哲仁会 三峰病院

- ・施設形態：単科精神科病院
- ・院長名：連記 成史
- ・指導責任者氏名：連記 成史
- ・指導医人数：(1) 人
- ・精神科病床数：(220) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|--------------------|---------------|---------------|
| F0 | 243 | 54 |
| F1 | 54 | 24 |
| F2 | 328 | 130 |
| F3 | 384 | 54 |
| F4 F50 | 271 | 12 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 33 | 18 |
| F6 | 169 | 14 |
| その他 | 177 | 10 |

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、当地方において進行する超高齢化に対応する為、いち早く県北では唯一の認知症治療病棟(50床)を設置。平成23年6月1日には、宮城県指定で初めての認知症疾患医療センターを開設。認知症専門医による医療相談や鑑別診断、認知症ケア専門士等の多職種チームによる診療体制が充実しており、CT・MRI等での画像診断の習得が可能で、精神科専門医を目指す医師にとって充実した研修を受ける事が出来ます。

尚、協力型臨床研修指定病院（気仙沼市立病院との連携）になっているとともに、日本精神神経学会及び日本老年精神医学会の専門医取得により、両学会の研修施設としても認定を受け、

老年精神医学分野においても研修可能となっております。

また、院外の研修と致しましては、地域包括ケアを重要と考え、行政や保健所等との地域連携をしており、東日本大震災後より、アウトリーチ業務、みやぎ心のケアセンターとの連携業務（気仙沼地域センター長を務める）、従来の精神鑑定業務や保健所の精神保健相談業務なども可能です。

14. 施設名： 社会医療法人 二本松会 山形さくら町病院

- ・施設形態： 精神科単科
- ・院長名： 管理責任者・副院長 広瀬 公聖
- ・指導責任者氏名： 広瀬 公聖
- ・指導医人数：(6) 人
- ・精神科病床数：(339) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|--------------------|---------------|---------------|
| F0 | 387 | 113 |
| F1 | 146 | 27 |
| F2 | 1792 | 357 |
| F3 | 1674 | 224 |
| F4 F50 | 965 | 36 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 40 | 14 |
| F6 | 21 | 7 |
| その他 | | |

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

精神科救急入院棟（年間 330 件）と精神科急性期病棟（年間 200 件）を有し、チーム医療の下に精神科救急医療を実践している。認知症治療病棟もあり、認知症を主とした高齢者医療にも取り組んでいる。近年はリワークプログラムによるうつ病

の方の復職支援や児童思春期症例にも力を入れている。また、精神科デイケアや訪問看護、グループホーム、精神科作業所などによる精神科リハビリテーションや社会復帰活動も幅広く行っている。急性期から社会復帰まで、地域の精神科医療の中心的役割を果たしている。

15. ・施設名：春日療養園

- ・施設形態：私的単科精神科病院
- ・院長名：吉田 良利
- ・指導責任者氏名：吉田 卓夫
- ・指導医人数：(1) 人
- ・精神科病床数：(250) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|--------------------|---------------|---------------|
| F0 | 10 | 8 |
| F1 | 1 | 3 |
| F2 | 85 | 107 |
| F3 | 28 | 12 |
| F4 F50 | 11 | 1 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 0 | 2 |
| F6 | 0 | 0 |
| その他 | 12 | 1 |

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

慢性期の統合失調症が中心。

長期療養が必要なケースを積極的に受け入れている。

また、外来・入院ともリハビリ的アプローチに力を入れている。

グループホームも開設し、訪問看護等のアウトリーチにより、

地域生活を支援している。

16. 施設名：小島病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：小島照正
- ・指導責任者氏名：小島照正
- ・指導医人数：(3) 人
- ・精神科病床数：(150) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|--------------------|---------------|---------------|
| F0 | 40 | 15 |
| F1 | 19 | 3 |
| F2 | 338 | 133 |
| F3 | 356 | 36 |
| F4 F50 | 154 | 5 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 15 | 9 |
| F6 | 2 | 0 |
| その他 | 73 | 10 |

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

宮城県南の民間単科精神科病院であり、150床の精神科病床を有する。規模は小さいが、幅広い年代に渡る精神科臨床を対象とする。精神科臨床専門領域指導者を揃えている。アットホームな医局であり、マンツーマン指導も可能である。

17. 施設名：上山病院

- ・施設形態：民間病院

- ・院長名：江口拓也
- ・指導責任者氏名：佐野琢也
- ・指導医人数：(3) 人
- ・精神科病床数：(424) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|--------------------|---------------|---------------|
| F0 | 333 | 164 |
| F1 | 27 | 27 |
| F2 | 375 | 307 |
| F3 | 305 | 72 |
| F4 F50 | 257 | 29 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 420 | 59 |
| F6 | 5 | 5 |
| その他 | 0 | 0 |

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は歴史的に病棟の開放化を進めてきた精神科病院であり、社会復帰に向けてのリハビリテーション、たとえば作業療法やデイケア、SSTなどを重視した医療を展開してきました。最近の精神医学に対する施策等でも入院治療から外来の治療へ、周辺地域で「心を病んだ方」を支援していくという方向性は当院の根底に流れている考え方と同様と思います。一方、当院の位置する上山市は高齢化率30%超の状況であり、認知症の治療も当院の仕事と考え、上山市、医師会とも協力しながら医療と介護の連携を進めております。扱う疾患としてF0、F2～F4を中心に考えております。

現在、上記の医療、福祉の連携を進められる病棟、老人保健施設の建築に着手致しました。精神科救急対応も行いますし、慢性期の患者さんへの対応もていねいに行っているつもりです。いずれにしても「地域とともに、地域に根ざした病院」を目指すことを当院の特徴と考えております。

18. 施設名：青葉病院

- ・施設形態：単科精神科病院
- ・院長名：菅野道
- ・指導責任者氏名：菅野道
- ・指導医人数：(7) 人
- ・精神科病床数：(280) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|--------------------|---------------|---------------|
| F0 | 28 | 9 |
| F1 | 23 | 7 |
| F2 | 1059 | 324 |
| F3 | 262 | 80 |
| F4 F50 | 62 | 19 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 53 | 16 |
| F6 | 59 | 18 |
| その他 | 0 | 0 |

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、仙台市内の比較的中心部に位置し、精神科280床を有する単科精神科病院です。入院病棟は、精神科急性期治療病棟53床（1単位）、一般精神病棟58床（1単位）、精神療養病棟119床（3単位）の5単位となっている。

統合失調症、双極性障害を中心に多彩な症例がある。また、外来は、精神科外来1日平均95名。精神科デイケア、精神科ショートケアも行っている。

各種専門医療、地域精神医療に積極的に取り組んでいます。専門医療としては、漢方外来や睡眠外来等の専門外来を行っており、脳波検査、終夜睡眠ポリグラフィー検査等も研修可能です。日本睡眠学会認定医や日本臨床精神神経薬理学会指導医も在籍し幅広く研修可能である。

19. 施設名：石越病院

- ・施設形態：私立病院
- ・院長名：姉齒秀平
- ・指導責任者氏名：姉齒秀平
- ・指導医人数：（ 1 ）人
- ・精神科病床数：（ 120 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 （年間） | 入院患者数 （年間） |
|---------------------------------|---------------|---------------|
| F0 | 93 | 4 |
| F1 | 17 | 4 |
| F2 | 459 | 121 |
| F3 | 323 | 11 |
| F4 F50 | 80 | 2 |
| F4 F7 F8 F9 F50 F6 その他 | 104 0 | 6 0 |

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

入院患者は慢性期の統合失調症が中心ですが、気分障害や知的障害、認知症も入院しています。比較的長期在院患者が多いため、慢性期に対する作業療法を中心としたリハビリテーションに取り組んでいます。しかし徐々に高齢化が進行しており身体合併や認知症状を認める患者さんが増えており、問題がある患者さんは近くの公立病院での精査や治療を行っています。また、関連する社会復帰施設との関係から一時的に受け入れるなどの対応も行っています。外来においては統合失調症以外に軽症の気分障害や睡眠障害、認知症などの患者さんが多く、特に老人施設に入所している患者さんへの治療も多くなっています。また、社会復帰施設の入所者への治

療や指導も行っています。さらに精神障害者地域生活支援センターを運営しており、地域で生活している障害者に対しての生活に対して個別・具体的な援助や指導・訓練などを行っています。

20. 施設名：仙台市精神保健福祉総合センター

- ・施設形態：行政機関
- ・院長名：林みつ穂
- ・指導責任者氏名：原田修一郎
- ・指導医人数：(2) 人
- ・精神科病床数：(0) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|--------------------|---------------|---------------|
| F0 | 0 | 0 |
| F1 | 1 | 0 |
| F2 | 48 | 0 |
| F3 | 37 | 0 |
| F4 F50 | 45 | 0 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 3 | 0 |
| F6 | 1 | 0 |
| その他 | | |

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当施設は精神保健福祉法第6条に基づいて精神保健及び精神障害者の福祉に関する総合的技術センターとして地域精神保健福祉活動の中核としての機能を備える目的にて設置された行政機関である。また同時に当施設は精神科診療所、精神科デイケアも併設しており、精神科医療機関としての機能もある。

地域精神保健福祉活動として、保健所スタッフとともに、精神障害者に対する訪問

や往診の経験をすることができる。そして精神保健福祉法による通報事例に対する措置診察も積極的に行っており、措置診察をすることや診察の陪席をする経験ができる。

また精神保健福祉の行政機関であるため精神医療審査会、精神障害者福祉手帳及び自立支援医療の判定に関する業務などについて学ぶことができる。当施設の精神科デイケアでは精神障害者の社会参加、就労支援に力を入れている。また宮城県内で唯一、うつ病による休職者を対象としたリワークプログラムを実施している。そのため精神科リハビリテーションについて実践的経験をすることができる。

21. 施設名：仙台市立病院

- ・施設形態：公的総合病院
- ・院長名：亀山 元信
- ・指導責任者氏名：佐藤 博俊
- ・指導医人数：(1) 人
- ・精神科病床数：(50) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|--------------------|---------------|---------------|
| F0 | 45 | 25 |
| F1 | 150 | 15 |
| F2 | 40 | 10 |
| F3 | 45 | 15 |
| F4 F50 | 100 | 8 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 15 | 3 |
| F6 | 30 | 4 |
| その他 | 10 | 0 |

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、525 床を有する総合病院であり、身体合併症を併存する精神疾患、救急搬送された自殺企図例を集中的にコンサルテーション・リエゾン精神医学の実践を経験することが可能である。加えて 50 床の精神科病棟を有しており、統合失調症、物質関連障害、気分障害、症状性・器質性精神疾患を含む多彩な身体合併症を入院治療の実践経験を積むことができる。

22. 施設名：医療法人社団蔵王会 仙南サナトリウム

- ・施設形態：民間病院
- ・院長名：本多 修
- ・指導責任者氏名：本多 修
- ・指導医人数：(2) 人
- ・精神科病床数：(216) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|--------------------|---------------|---------------|
| F0 | 169 | 244 |
| F1 | 4 | 5 |
| F2 | 9 | 56 |
| F3 | 32 | 29 |
| F4 F50 | 7 | 6 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 76 | 10 |
| F6 | 2 | 0 |
| その他 | 92 | 4 |

・施設としての

特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、宮城県仙南地方の単科精神病院である。

急性期から回復期、慢性期と幅広い症例領域を長年行ってきた。

以前は、福島医科大学附属病院や刈田総合病院の卒後臨床研修協力病院として役割

も担い、積極的に地域における精神医学教育とその連携を行ってきた。さらに2014年9月には、宮城県認知症疾患医療センターとして指定を受け、地域のかかりつけ医や地域包括支援センターからの認知症の鑑別診断依頼や周辺症状による入院症例が急激に増え、地域住民や関係者向けの認知症疾患セミナーや開業医向けの講演会などを行い、老年期精神疾患の診断・治療について当地域の中心となっている。最近では、地域包括支援センターやケアマネージャーからの相談も増えており、外来受診時や入退院時に必要とされる場合は、地域の関係者の含めた支援会議を持ち、地域連携を積極的に進めている。このほか、知的障害者入所支援施設の嘱託医療機関として、施設を訪問しての定期診察やグループホーム、地域生活援助センター、就業・生活支援センターから紹介症例など知的障害者の治療場面を学ぶ機会も多い。併設施設など：精神療養病棟、認知症治療病棟、精神科作業療法、共同生活援助、認知症疾患医療センター、精神科救急輪番

23. 施設名：仙南中央病院

- ・施設形態：民間医療法人精神科病院
- ・院長名：鈴木健
- ・指導責任者氏名：鈴木健
- ・指導医人数：(2) 人
- ・精神科病床数：(185、内、認知症治療病棟 60) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|--------------------|---------------|---------------|
| F0 | 366 | 55 |
| F1 | 14 | 2 |
| F2 | 732 | 99 |
| F3 | 146 | 21 |
| F4 F50 | 44 | 6 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 10 | 1 |

| | | |
|-----|----|---|
| F6 | 14 | 2 |
| その他 | | |

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は宮城県南地域に立地する精神科病院である。認知症治療病棟があり医師数等が充実していること、同一法人内に内科外科リハビリ科病院を有していること、県南地区最大の三次救急病院と密接な関係を保持していること等から、同地区の精神科基幹病院となっており、精神一般から身体合併症例まで幅広くインテークしている。特に重度合併症受入れ先としてはほぼ唯一の存在である。一方で、複数グループホームと一日 10 時間稼働の欧州型デイナイトケアセンターを有しており、病院単体で長期入院症例の退院推進を可能とする自己完結型地域移行システムを構築運用している。精神病圏や感情病圏はもとより、地域移行、認知症合併症例まで、その実質的臨床経験を豊富に蓄積できる。また、院内保育室を完備しフレックス制を導入するなど、女性医師育児支援に注力していることも当院の大きな特徴である。

24. 施設名：千歳篠田病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：吉田 邦夫
- ・指導責任者氏名：外崎 昭
- ・指導医人数：（ 1 ）人
- ・精神科病床数：（ 300 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 （年間） | 入院患者数 （年間） |
|--------|---------------|---------------|
| F0 | 427 | 150 |
| F1 | 12 | 8 |
| F2 | 182 | 217 |
| F3 | 404 | 61 |
| F4 F50 | 116 | 3 |

| | | |
|--------------------|----|----|
| F4 F7 F8 F9 F50 | 43 | 11 |
| F6 | 5 | 0 |
| その他 | 28 | 2 |

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

千歳篠田病院は、昭和 31 年開設の 300 床を擁する精神科病院である。外来の特徴として、家族・地域の庇護を受けつつ、専門治療を求める晩発生認知症患者が多いこと、入院としては未治療の統合失調症及び社会適応性の回復を目指す中高年の統合失調症及び感情障害患者が多くを占めることが挙げられる。同一法人に属する総合病院があり、身体合併症への迅速・円滑な対応が可能で、専門医研修においては統合失調症治療に合併する急性・慢性疾患への対応について学ぶ、多くの機会を提供することができる。

25. 施設名：台原高柳病院

- ・施設形態：単科精神科病院
- ・院長名：高柳 義伸
- ・指導責任者氏名：高柳 葉子
- ・指導医人数：（ 2 ）人
- ・精神科病床数：（ 120 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 （年間） | 入院患者数 （年間） |
|--------|---------------|---------------|
| F0 | 86 | 14 |
| F1 | 35 | 10 |
| F2 | 433 | 127 |
| F3 | 830 | 55 |
| F4 F50 | 858 | 23 |

| | | |
|--------------------|----|---|
| F4 F7 F8 F9 F50 | 5 | 1 |
| F6 | 1 | |
| その他 | 33 | |

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は市街地にある単科精神科病院で、精神療養型 120 床を持つ。外来は内科系を標榜しているため近隣住民の受診が多い。上部・下部内視鏡検査や超音波検査を行い、身体と心の両方を支える医療を目指している。入院は、神経症圏、気分障害、統合失調症の急性期や慢性期、認知症など多彩でリエゾン症例にも対応する。年代も幅広い。精神科デイケアを併設しており、退院支援や地域連携にも力を入れている。ただし、措置入院は扱わない。

26. 施設名：東北会病院

- ・ 施設形態 : 民間施設
- ・ 院長名 : 石川 達
- ・ 指導責任者氏名 : 奥平 富貴子
- ・ 指導医人数 : 5 名
- ・ 精神科病床数 : 222 床
- ・ 疾患別入院数・外来数（年間） :

| 疾患 | 外来患者数（年間） | 入院患者数（年間） |
|--------------------|-----------|-----------|
| F0 | 12 | 2 |
| F1 | 966 | 282 |
| F2 | 472 | 167 |
| F3 | 736 | 100 |
| F4 F50 | 396 | 51 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 406 | 55 |
| F6 | 205 | 25 |

・施設としての特徴

仙台市中心部に位置する都市型の単科精神科病院である。創立 110 年を迎え統合失調症、アルコール依存症を始めとする物質使用障害、気分障害、神経症性障害、摂食障害、パーソナリティ障害と対象疾患は多岐に渡る。

入院に関しては、物質使用障害・嗜癖性障害の専門病棟を持ち、アルコール・薬物リハビリテーションプログラムを基盤とし、患者個々の状態に応じ各種集団療法等を組み合わせることができる。また、6床のストレスケア病室を有しうつ病や神経症性障害などの患者が主に入院している。統合失調症は初発例、急性期・慢性期と多彩である。医療保護入院などの非自発的入院や行動制限を必要とする患者にも対応している。

治療としては各種集団精神療法（アルコール、薬物、ギャンブリング依存、摂食障害、女性アディクション患者、家族対象）が充実しており、集団力動を活用した支援に力を入れている。また、心理教育プログラムとして物質使用障害やギャンブリング依存のワークショップを定期的に開催している。地域連携としては医師やコメディカルスタッフが仙台市のみならず宮城県全域の行政機関でスーパーバイズを行う他、「宮城県アディクション問題研究会」では事例検討や講義等の話題提供を通して医療を超えた領域（行政、教育、司法、福祉）との連携を図っている。また、回復支援施設との連携、相互支援（自助）グループ設立支援など三次予防にも力を入れている。

・併設施設等：物質使用障害・嗜癖性障害病棟（精神科急性期治療病棟）、精神科作業療法、精神科デイケア（アルコール依存症、女性アディクション患者対象）、訪問看護、精神科救急輪番、カウンセリング機関

27. 施設名：東北福祉大学せんだんホスピタル

- ・施設形態：私的単科精神科病院
- ・院長名：浅野弘毅
- ・指導責任者氏名：滝井泰孝
- ・指導医人数：（ 4）人
- ・精神科病床数：（ 144）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 (年間) | 入院患者数 (年間) |
|----|---------------|---------------|
| F0 | 82 | 48 |
| F1 | 0 | 2 |
| F2 | 55 | 101 |

| | | |
|--------------------|-----|----|
| F3 | 97 | 86 |
| F4 F50 | 239 | 37 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 367 | 80 |
| F6 | 9 | 1 |
| その他 | 3 | 3 |

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

急性期対応型の精神科病院として短期集中型の医療を実現し、早期の地域復帰をめざしてきました。東北地方ではじめての児童・思春期の精神科病棟を開設し、院内学級、思春期デイケアを用意してきました。さらに、包括型地域生活支援（ACT）部門を設置して、たとえ重い精神の障害があっても入院をせずに地域生活が送られるような訪問支援活動を展開して来ました。また、薬物治療難治性精神疾患に対する修正型ECTを実施しています。認知症の症例も数多く、2016（平成28）年度には認知症疾患医療センターを開設予定です。このように、各ライフステージに合わせた専門治療が可能です。

28. 施設名：医療法人菅野愛生会 緑ヶ丘病院

- ・施設形態：単科精神科病院
- ・院長名：菅野喜與
- ・指導責任者氏名：黒須紀友
- ・指導医人数：（ 4 ）人
- ・精神科病床数：（ 295 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

| 疾患 | 外来患者数 （年間） | 入院患者数 （年間） |
|----|---------------|---------------|
| F0 | 433 | 35 |
| F1 | 1237 | 9 |
| F2 | 1837 | 87 |

| | | |
|--------------------|------|----|
| F3 | 4620 | 64 |
| F4 F50 | 232 | 6 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 298 | 21 |
| F6 | 599 | 7 |
| その他 | 166 | 0 |

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、仙台市に隣接する沿岸エリア（塩釜市、多賀城市、他3町）を医療圏とする単科の精神科病院であり、慢性期、急性期を問わず入院については統合失調症、気分障害等を中心に多彩な症例で経験することが可能である。外来は、通常の診療に加えて、てんかん外来、児童・思春期外来等の専門外来を行っている。また、精神科専門療法にも力をいれており、精神科作業療法、デイ・ケア、ナイト・ケア、訪問看護等の稼働率は、県内でも上位に位置している。

29. 施設名：いわき市立総合磐城共立病院

- ・施設形態：公的総合病院
- ・院長名：新谷史明
- ・指導責任者氏名：池本桂子
- ・指導医人数：（ 1 ）人
- ・精神科病床数：（ 0 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間） 138 （のべ1316）

| 疾患 | 外来患者数（年間） | 入院患者数（年間） |
|----|-----------|-----------|
| F0 | 2 | 33 |
| F1 | 1 | 27 |
| F2 | 1 | 15 |
| F3 | 4 | 34 |

| | | |
|-----------------|---|----|
| F4 F50 | 1 | 16 |
| F4 F7 F8 F9 F50 | 2 | 5 |
| F6 | 1 | 6 |
| その他 | | |

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、1950年に設立され、精神科は、常磐病院との合併に際し、2010年8月に精神科医師1名が赴任して新設された。福島県浜通り唯一の第三次救命救急センターを有する中核病院であり、現在のところ、精神科は、リエゾン精神医学に特化した形をとり、院内ではリエゾン科と呼ばれている。自殺企図による紹介例は全例を担当するなど、バラエティーに富んだ症例が経験できる。東日本大震災後は、一時的に女性の自殺企図症例が増加した。女性のメンタルヘルスについて研鑽するためには、よい研修施設である。現在の指導医は、睡眠医療認定医師でもある。ドーパミントランスポーターPET スキャンが昨年より稼働開始し、認知症診断の有用なツールとなった。スタッフが増員すれば、地域のニーズに応じて、外来を開設することを視野に入れている。他に心療内科がある。子供のカウンセリングは、小児科を窓口として、心理判定士が担当している。

3. 研修プログラム

1) 年次到達目標

(⇒ 具体的なプログラムを記載してください。精神科領域研修プログラム整備基準に記載されている、必要な研修到達目標、専門技能、経験目標経験すべき治療場面、診療形態、地域医療などについて、何年目にどのような施設で行うか、その際、習得方法の工夫などを記載ください。)

専攻医は精神科領域門制度の研修手帳にしたがって知識を習得する研修期間中に以下の領域の知識を広く学ぶ必要がある。 1. 患者及び家族の面接、 2. 疾患概念の病態理解、 3. 診断と治療計画 4. 補助検査法、 5. 薬物・身体療法、 6. 精神療法、 7. 心理社会的療法など、 8. 精神科救急、 9. リエゾン・コンサルテーション精神医学、 10. 法と精神医学、 11. 災害精神医学、 12. 医の倫理、 13. 安全管理

年次毎の到達目標は以下通りである。

到達目標

1年目

基幹病院または連携病院で、指導医とともに統合失調症、気分障害、器質性精神障害などの入院・外来患者を受け持ち、面接の仕方、診断と検査、治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を学ぶ。リエゾン回診に同行し、リエゾン・コンサルテーション精神医学を経験する。面接により診断をつけること、良好な治療関係を構築することの重要性を学ぶ。院内の症例検討会や抄読会に参加し、幅広い知識を身につける。精神療法の習得のためのセミナーに参加したり、院内の症例発表会や地方会などの学会にて発表を行う。

2年目

基幹病院または連携病院で、指導医の指導を受けながら、自ら適切な治療計画を立て、基本的な薬物療法、精神療法を行うことができるようにする。認知行動療法などの基本的考え方と技法を学ぶ。通常の検査に加え、臨床脳波・脳画像のより効果的な活用法を学ぶ。精神科救急に従事して、急性期の対応を学ぶ。依存症患者、離脱症状を呈している患者の診断・治療を経験する。神経症性障害の対応について学ぶ。引き続き院内の症例検討会や抄読会に参加し、幅広い知識を身につける。精神療法の習得のためのセミナーに参加したり、院内の症例発表会や地方会などの学会にて発表を行う。

3年目

指導医から適宜指導を受けながらも、概ね自立して診療できるようにする。連携病院は幅広い選択肢の中から専攻医の志向を考慮して選択する。地域の精神科関連施設において、包括的な心理社会的療法、精神科リハビリテーション・地域精神医療等を学ぶ。児童・思春期精神障害・摂食障害およびパーソナリティ障害の診断・治療を経験する。災害精神医学の基本的な姿勢を学ぶ。触法精神障害者の診察や治療を指導医とともに経験する。院内の症例検討会や抄読会において、より中心的な役割を担う。地方会などの学会にて症例発表を行うとともに、研究に参加する。

2) 研修カリキュラムについて

研修カリキュラムは、「専攻医研修マニュアル」（別紙）、「研修記録簿」（別紙）を参照。

3) 個別項目について

(⇒ 次の各項目について、どのような施設で、どのような場面でどのようにして履修、習得するか具体的に記述してください。)

① 倫理性・社会性

基幹施設において行われる研修会を他科の専攻医とともに受講する。コンサルテーションリエゾンを通して身体科との連携を持つことによって医師としての責任や社会性、倫理観などについて学ぶ。他職種を交えた症例カンファレンスにおいても社会性や倫理観を学ぶことができる。

② 学問的姿勢

専攻医は最新の知識を習得し、常に研鑽することが求められる。すべての研修期間を通じて与えられた症例を院内の症例検討会で発表することを基本とする。指導医とともに、文献的な調査を行いより深く症例を検討する事を学び、その中で特に興味ある症例については、地方会等での発表や学会誌などへの投稿を行う。

③ コアコンピテンシーの習得

研修期間を通じて、1) 患者関係の構築、2) チーム医療の実践、3) 安全管理、4) 症例プレゼンテーション技術、5) 医療における社会的・組織的・倫理的側面の理解、を到達目標とし、医師としてのコアコンピテンシーの習得を目指す。さらに精神科診断面接、精神療法、精神科薬物療法、コンサルテーションリエゾンといった精神科医特有のコンピテンシーの獲得を目指す。

④ 学術活動（学会発表、論文の執筆等）

基幹施設、連携施設において実施されている臨床研究、基礎研究に参加し、その成果を学会や論文として発表する。

⑤ 自己学習

常日頃から文献検索を行い、院内の症例検討会や抄読会に参加する。積極的に研修会や学会に参加し、最新の知識を習得することに努める。

4) ローテーションモデル

(⇒基幹並びに連携施設の間で具体的にどのようにローテーションするかモデルを提示してください。) 典型的には、1年目に東北大学病院をローテートし、精神科医としての基本的な知識を身につける。2～3年目以降には、総合病院精神科や県立精神医療センター、各地域の拠点単科精神科病院をローテートし、身体合併症治療、難治・急性期症例、児童症例、認知症症例など、急性期医療から地域医療までを幅広く経験する。これにより、精神療法、薬物療法を主体とする治療手技、生物学的検査・心理検査などの検査手法、精神保健福祉法や社会資源についての知識と技術を深めていく。これら3年間のローテート順については、本人の志向する将来的な専門性に応じて柔軟な対応が可能である。主なローテーションパターンについて、別紙1に示す。

5) 研修の週間・年間計画

別紙2と別紙3を参照

4. プログラム管理体制について

(⇒以下の各委員会について具体的な委員名を記載してください。)

・プログラム管理委員会

委員長 医師:松岡洋夫

医師:松本和紀

医師:本多奈美

医師:伊藤文晃

医師:桂雅宏

医師:佐久間篤

医師:連記成史

医師:吉田卓夫

医師:山崎英樹

医師:八木深

医師:門間好道

医師:村川泰徳

医師:本多修

医師:原田伸彦

医師:原田修一郎

医師:外崎昭

医師:田中武

医師:滝井泰孝

医師:高柳 葉子

医師:高松幸生

医師:鈴木健

医師:佐野琢也

医師:佐藤博俊

医師:近藤等

医師:黒須紀友

医師:菊池紗耶

医師:菅野道

医師:小原聡子

医師:小野寺滋実

医師:小島照正

医師:奥平富貴子

医師:大野高志

医師：植松美行
医師：池本桂子
医師：姉齒秀平
医師：青嶋利明
看護師：千葉まさ子
精神保健福祉士：田口望

・プログラム統括責任者
松岡洋夫

・連携施設における委員会組織
各連携病院の指導責任者および実務担当の指導医によって構成される

5. 評価について

1) 評価体制

(⇒各施設の評価者について具体的氏名を記してください。)

東北大学病院：松岡洋夫
いずみの杜診療所：山崎英樹
こころのホスピタル・古川グリーンヒルズ：青嶋利明
こだまホスピタル：門間好道
旭山病院：近藤等
花巻病院：八木深
釜石厚生病院：植松美行
岩手県立南光病院：村川泰徳
宮城県子ども総合センター：小野寺滋実
宮城県精神保健福祉センター：小原聡子
宮城県立精神医療センター：大野高志
高松病院：高松幸生
国見台病院：原田伸彦
三峰病院：連記成史
山形さくら町病院：広瀬公聖
春日療養園：吉田卓夫
小島病院：小島照正
上山病院：佐野琢也
青葉病院：菅野道
石越病院：姉齒秀平
仙台市精神保健福祉総合センター：原田修一郎
仙台市立病院：佐藤博俊

仙南サナトリウム：本多修
仙南中央病院：鈴木健
千歳篠田病院：外崎昭
台原高柳病院：高柳葉子
東北会病院：奥平富貴子
東北福祉大学仙台ホスピタル：滝井泰孝
緑ヶ丘病院：黒須紀友
いわき市立総合磐城共立病院：池本桂子

2) 評価時期と評価方法

(⇒それぞれのプログラムについて、どの時期に誰がどのように評価するか記載してください。)

- 3か月ごとに、カリキュラムに基づいたプログラムの進行状況を専攻医と指導医が確認し、その後の研修方法を定め、研修プログラム管理委員会に提出する。
- 研修目標の達成度を、当該研修施設の指導責任者と専攻医がそれぞれ6ヶ月ごとに評価し、フィードバックする。
- 1年後に1年間のプログラムの進行状況並びに研修目標の達成度を指導責任者が確認し、次年度の研修計画を作成する。またその結果を統括責任者に提出する。
- その際の専攻医の研修実績および評価には研修記録簿／システムを用いる。

3) 研修時に則るマニュアルについて

「研修記録簿」に研修実績を記載し、指導医による形成的評価、フィードバックを受ける。総括的評価は精神科研修カリキュラムに則り、少なくとも年1回おこなう。東北大学病院にて専攻医の研修履歴（研修施設、期間、担当した専門研修指導医）、研修実績、研修評価を保管する。さらに専攻医による専門研修施設および専門研修プログラムに対する評価も保管する。

・専攻医研修実績記録

「研修記録簿」に研修実績を記録し、一定の経験を積むごとに専攻医自身が形成的評価をおこない記録する。少なくとも年に1回は形成的評価により、指定された研修項目を年次ごとの達成目標に従って、各分野の形成的自己評価をおこなうこと。研修を修了しようとする年度末には総括的評価により評価が行われる。

・指導医による指導とフィードバックの記録

専攻医自身が自分の達成度評価をおこない、指導医も形成的評価をおこない記録する。少なくとも年1回は指定された研修項目を年次ごとの達成目標に従って、各分

野の形成的評価をおこない評価者は「劣る」、「やや劣る」の評価をつけた項目については必ず改善のためのフィードバックをおこない記録し、翌年度の研修に役立たせる。

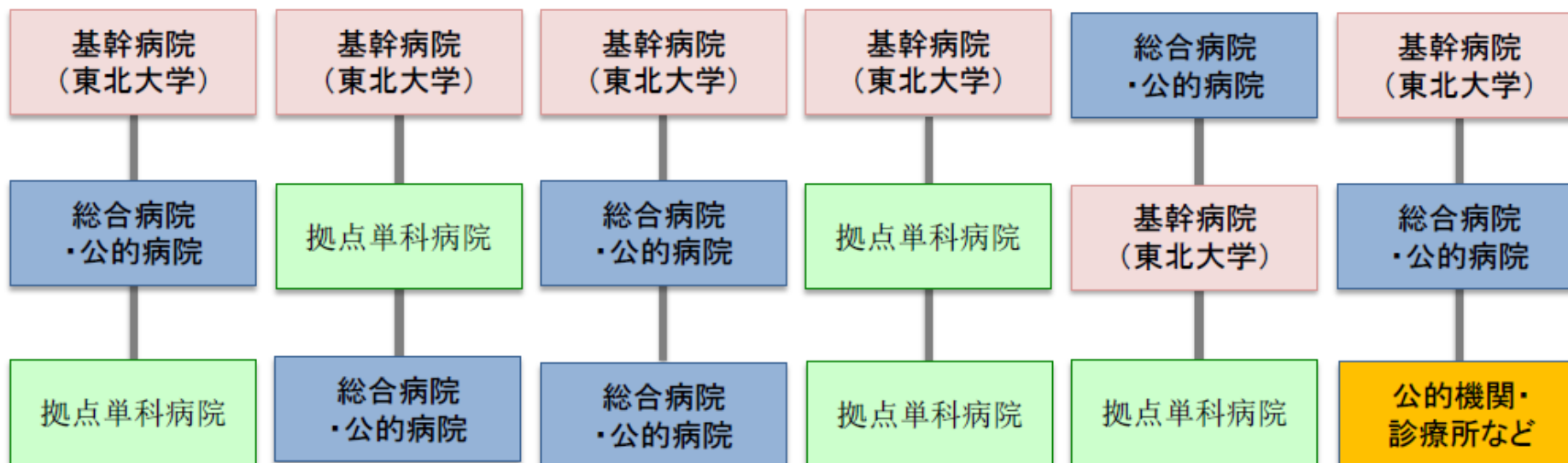
6. 全体の管理運営体制

(⇒次の項目の管理運営体制について具体的に記載してください。)

- 1) 専攻医の就業環境の整備（労務管理）
各施設の労務管理基準に準拠する。
- 2) 専攻医の心身の健康管理
各施設の健康管理基準に準拠する。
- 3) プログラムの改善・改良
基幹病院の統括責任者と連携施設指導による委員会で定期的にプログラム内容について討議し、継続的な改良を実施する。
- 4) FDの計画・実施
年1回、プログラム管理委員会が主導し各施設における研修状況を評価する。

別紙1 ローテーションの例

基幹病院、総合病院・公的病院、拠点単科病院を軸に、
専攻医のニーズに応じて多様な研修パターンが可能である。



別紙 2 週間スケジュール

① 東北大学病院

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|----------------|----------------|------|------|------|
| 8:30-9:00 | 病棟業務 | 入院症例 検討会 | 病棟業務 | 病棟業務 | 病棟業務 |
| 9:00-12:00 | 外来予診 | リエゾン | 外来予診 | 外来業務 | 外来予診 |
| 13:00-16:00 | 病棟業務 | 病棟業務 | 病棟業務 | 病棟業務 | 病棟業務 |
| 16:00-17:00 | チームカ ンファランス | 病棟業務 | 病棟業務 | 病棟業務 | 病棟業務 |
| 1700-19:00 | 医局会/抄 読会 | クルーズ/ 症例検討会 | | | |

※いずれの施設においても、就業時間が 40 時間/週を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。原則として、40 時間/週を超えるスケジュールについては自由参加とする。

② いずみの杜診療所

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----|--------------|--------------------------------------|---|-----------------------------|-----------------|---|---|
| 午前 | ・外来診療 | ・外来診療 | | ・新患診療の陪席または外来診療 ・院内断酒会参加 | ・新患診療の陪席または外来診療 | ・仕合わせの会（当事者の会、第3土曜） | |
| 午後 | ・外来診療または訪問診療 | ・富谷町精神保健相談陪席（第2火曜） | | ・外来診療または訪問診療 | ・外来診療または訪問診療 | ・認知症の人と家族の会（第3土曜） ・おれんじドア（認知症の本人のための総合相談、第4土曜） | |
| 夜 | | ・神経心理学セミナー（不定期） ・地域ケアよろず懇話会（第4火曜） | | ・精神科臨床の会（8月と12月を除く偶数月第2木曜） | ・診療会議（奇数月の第2金曜） | | |

③ こころのホスピタル・古川グリーンヒルズ

(第1週)

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|---------------------|---------------------|---------------------|-------------|---------------------|
| 8:30-9:00 | ミーティング | ミーティング | ミーティング | ミーティング | ミーティング |
| 9:00-12:15 | 外来診察(予診) 指導医診察陪席 | 外来診察(予診) 指導医診察陪席 | 外来診察(予診) 指導医診察陪席 | 認知症病棟診 察 | 外来診察(予診) 指導医診察陪席 |
| 13:30-14:00 | 医局会 | 病棟診察 | デイケア、ナイト ケア参加 | 病棟診察 | 自己学習 |
| 14:00-17:00 | 病棟診察 | | | | |
| 17:00-18:00 | | 文献抄読会 | | | |

(第2週)

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|---------------------|---------------------|---------------------|-------------|---------------------|
| 8:30-9:00 | ミーティング | ミーティング | ミーティング | ミーティング | ミーティング |
| 9:00-12:15 | 外来診察(予診) 指導医診察陪席 | 外来診察(予診) 指導医診察陪席 | 外来診察(予診) 指導医診察陪席 | 認知症病棟診 察 | 外来診察(予診) 指導医診察陪席 |
| 13:30-15:00 | 心理検査等陪席 | 病棟診察 | 作業療法参加 | 病棟診察 | 自己学習 |
| 15:00-17:00 | 病棟診察 | | 病棟診察 | | |
| 17:00-18:00 | | 文献抄読会 | | | |

(第3週)

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|---------------------|---------------------|---------------------|-----------------|---------------------|
| 8:30-9:00 | ミーティング | ミーティング | ミーティング | ミーティング | ミーティング |
| 9:00-12:15 | 外来診察(予診) 指導医診察陪席 | 外来診察(予診) 指導医診察陪席 | 外来診察(予診) 指導医診察陪席 | 認知症病棟診 察 | 外来診察(予診) 指導医診察陪席 |
| 13:30-14:30 | 病棟スタッフミー ティング | 病棟診察 | 訪問看護同行 | 地域移行推進 委員会参加 | 行動制限最小 化委員会参加 |
| 14:00-17:00 | 病棟診察 | | | 病棟診察 | |
| 17:00-18:00 | | 文献抄読会 | | | |

(第4週)

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|---------------------|---------------------|---------------------|-------------|---------------------|
| 8:30-9:00 | ミーティング | ミーティング | ミーティング | ミーティング | ミーティング |
| 9:00-12:15 | 外来診察(予診) 指導医診察陪席 | 外来診察(予診) 指導医診察陪席 | 外来診察(予診) 指導医診察陪席 | 認知症病棟診 察 | 外来診察(予診) 指導医診察陪席 |
| 13:30-15:00 | 心理検査等陪席 | 病棟診察 | 脳波学習 | 病棟診察 | 自己学習 |
| 15:00-17:00 | 病棟診察 | | 病棟診察 | | |
| 17:00-18:00 | | 文献抄読会 | | | |

※措置診察があれば随時、指導医診察のもと陪席

④ こだまホスピタル

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 9:00-12:00 | 外来診療 入院診療 | 外来診療 入院診療 | 外来診療 入院診療 | 外来診療 入院診療 | 外来診療 入院診療 |
| 13:00-14:00 | 医局会 症例検討会 | | | | 医局 連絡会 |
| 14:00-17:00 | 外来診療 入院診療 | 外来診療 入院診療 | 外来診療 入院診療 | 外来診療 入院診療 | 外来診療 入院診療 |

⑤ 旭山病院

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|------|------|------|------|------|
| 8:30-9:00 | | | | | |
| 9:00-12:00 | 病棟業務 | 病棟業務 | 外来業務 | 外来業務 | 病棟業務 |
| 13:00-15:30 | 病棟業務 | 外来業務 | 外来業務 | 病棟業務 | 病棟業務 |
| 15:30-17:00 | | | | 会議 | |
| 17:00-20:00 | | | | | |

⑥ 花巻病院

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|-------------------------------|---------------------|----------------------------|------------------------|--------------------------------|
| 8:30-9:00 | | 退院事例 紹介 | 入院事例 紹介 | | |
| 9:00-12:00 | 往診 また は外来・病 棟業務 | 外来・病棟 業務 | 医局会・院 長回診 | 外来・病棟 業務 | 往診 また は外来・病 棟業務 |
| 13:00-16:00 | 医療観察 法事例検 討1 また はARP | 隔離拘束 事例多職 種会議 | mECT 医療観察 法事例検 討2 | ARP または 外来・病棟 業務 | テレビ会議 クルズス mECT 病 棟業務 |
| 16:00-18:00 | | 病棟業務 | 病棟業務 | 鑑定会議 (不定期) | 多職種勉 強会 |
| 18:00-20:00 | | | | 精神医学セ ミナー(不定 期) | |

⑦ 釜石厚生病院

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|------|---------------|--------------|--------------|--------------|
| 8:30-9:00 | | | | | |
| 9:00-12:00 | 外来診療 | 外来診療 | 外来診療 | 外来診療 | 外来診療 |
| 13:00-16:00 | 病棟業務 | デイ・ケア 病棟業務 | 病棟業務 地域医療 | 病棟業務 | 症例検討 病棟業務 |
| 16:00-18:00 | 学習会 | 抄読会 | 医局会 | 院内連絡会 学習会 | 自己学習 |
| 18:00-20:00 | | | | | |

⑧ 岩手県立南光病院

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|--------------------------------------|----------------|---|--|----------------|
| 8:00~8:30 | 医局カンファレンス (フィルム、新患紹介、 ベッド確認など) | 医局カンファレンス | 医局カンファレンス | 医局カンファレンス | 医局カンファレンス |
| 8:45~12:15 | 主に外来診療 | 主に外来診療 | 主に外来診療 アルコール外来 | 主に外来診療 | 主に外来診療 児童外来 |
| 13:15~17:15 | 主に病棟診療 | 主に病棟診療 児童外来 | 主に病棟診療 | 主に病棟診療 児童外来 精神保健相談 児童相談所 高田こころの相談室 | 主に病棟診療 |
| 13:15~13:30 | 多職種カンファレンス | 多職種カンファレンス | 多職種カンファレンス | 多職種カンファレンス | 多職種カンファレンス |
| 17:30~18:30 | | | 医局会 (月 1 回) 医局勉強会 (月 1~2 回) 医薬品説明会 (随時) | | |

外来診療、病棟診療については主な時間帯を表示

デイケア、精神科作業療法、訪問看護は連日午前午後

急患対応は 24 時間 365 日

職場研修会は不定期開催 (月に数回 13:15~14:00)

⑨ 宮城県子ども総合センター

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|------|-------|------|------|------|
| 8:30-9:00 | | | | | |
| 9:00-10:00 | 外来業務 | 症例検討会 | 外来業務 | 外来業務 | 外来業務 |
| 10:00-12:00 | 外来業務 | 外来業務 | 外来業務 | 外来業務 | 外来業務 |
| 13:00-17:00 | 外来業務 | 外来業務 | 外来業務 | 外来業務 | 外来業務 |
| 17:00-17:15 | | | | | |

- ・ 外来の空き時間を利用して、指導医から指導を受けることができる。
- ・ 月、火、木、金は子どもデイケアがあり、プログラムに参加可能である。
- ・ 月一回、児童相談所と連携したカンファレンスを行っており、参加可能である。

⑩ 宮城県精神保健福祉センター

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|-------------|------------|----------|----------------------------------|--|--|
| 9:00-12:00 | 外来陪席（デイケア） | 外来陪席（再来） | 各種委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域での精神保健福祉相談等の地域支援 ・依存症家族教室（第1木曜日） | デイケア 業務 |
| 13:00-15:00 | デイケア 業務 | 外来陪席（再来） | ひきこもり家族会（第2水曜日）とフリースペース（第1、3水曜日） | | <ul style="list-style-type: none"> ・デイケアケース会議 |
| 15:00-17:00 | デイケア 業務 | | 相談受理会議及び事例検討 | | |

⑪ 宮城県立精神医療センター

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|-----------------|--------|--------|--------|---------------|
| 8:30-8:55 | 病棟回診 | 病棟回診 | 病棟回診 | 病棟回診 | 病棟回診 |
| 8:55-9:30 | 総合診療会議 | 総合診療会議 | 総合診療会議 | 総合診療会議 | 総合診療会議 |
| 9:30-12:00 | 病棟業務 | 外来業務 | 病棟業務 | 外来業務 | 病棟業務 |
| 13:00-16:00 | 病棟業務 | 外来業務 | がんセンター | 訪問診療 | デイケア |
| 16:00-17:30 | 抄読会, 鑑定 勉強会等 | 外来業務 | がんセンター | 訪問診療 | 新患・入院 カンファ |

⑫ 高松病院

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土（隔週） |
|----|--------------|------------------------------------|------------------------|----------------------------------|----------------------|---------------------------------|
| 午前 | 外来診療 | 病棟診療 | 外来診療 | 認知症専門外来 （予診、指導医 診察陪席） | 病棟診療 | 病棟診療 認知症カフェ の参加(月 1 回) |
| 午後 | 病棟診療、 医局会 | デイケア業務、 地域相談業務 陪席、 施設往診陪席 | 病棟診療、 病棟カンファ レンス | 診断会議、 症例検討会、 画像カンファレ ンス | 個別指導、 研修会、 委員会 | 休日 |

⑬ 国見台病院

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|-------|--------------|-------|-----|----------------------|
| 8:30-9:00 | 朝カンファ | 朝カンファ | 朝カンファ | 研究日 | 朝カンファ |
| 9:00-12:00 | 病棟業務 | 病棟業務 新患業務 | 病棟業務 | | 外来診療 |
| 12:00-13:00 | | | | | 医局会 (隔週) |
| 13:00-17:00 | 病棟業務 | 病棟業務 新患業務 | 病棟業務 | | 外来診療 病棟業務 症例検討 |
| 随時 | ケース会議 | ケース会議 | ケース会議 | | ケース会議 |

⑭ 三峰病院

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|------|----------------------|------|------|------|
| 8:20-9:00 | | | | | |
| 9:00-12:30 | 病棟業務 | 外来診療 | 病棟業務 | 外来診療 | 外来診療 |
| 13:30-16:50 | 病棟業務 | 連絡協議会 医局会 病棟業務 | 病棟業務 | 病棟業務 | 病棟業務 |

⑮ 山形さくら町病院

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|------------------------------|-----------|----------------------|-----------------|-----------|
| 8:30-9:00 | 外来業務 (再来) | 病棟カンファレンス | 外来業務 (新患) | 院外研修 (大学病院等) | 病棟カンファレンス |
| 9:00-12:00 | | 病棟業務 | | | 病棟業務 |
| 13:00-17:00 | 病棟業務 | 病棟業務 | 外来業務 (再来) | | 病棟業務 |
| 17:00-17:30 | 勉強会 症例検討会 | | | | |
| 17:30-19:00 | 医局会 入退院カンファレンス (症例検討会) | | 画像診断勉強会 (第3水曜 隔月) | 脳波判読会 (第4木曜) | |

⑩ 春日療養園

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|------|------|----------------|------|------|
| 8:30-9:00 | | | | | |
| 9:00-12:00 | 外来業務 | 外来業務 | 外来業務 | 外来業務 | 外来業務 |
| 13:00-16:00 | 病棟業務 | 病棟業務 | 病棟業務 | 病棟業務 | 病棟業務 |
| 16:00-18:00 | | | チーム カンファレンス | | |
| 18:00-20:00 | | | | | |

⑰ 小島病院

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 8:30-9:00 | | | | | |
| 9:00-12:00 | 病棟業務・外来業務 | 病棟業務・外来業務 | 院長回診 | 病棟業務・外来業務 | 病棟業務・外来業務 |
| 13:00-16:00 | 症例検討会 | 病棟業務・外来業務 | 病棟業務・外来業務 | 病棟業務・外来業務 | 病棟業務・外来業務 |
| 16:00-18:00 | 病棟運営会議 | 病棟運営会議 | 病棟運営会議 | 病棟運営会議 | 病棟運営会議 |
| 18:00-20:00 | | 抄読会 | | | |

⑱ 上山病院

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|--------|----------|----------|------|-------|
| 8:30-12:30 | 外来診療 | 外来診療 | 外来診療 | 外来診療 | 外来診療 |
| 13:30-14:00 | 病棟業務 | 医局会議 | 昼カンファランス | 病棟業務 | 病棟業務 |
| 14:00-16:00 | 病棟業務 | 他院リエゾン | 病棟業務 | 施設往診 | 施設往診 |
| 16:00-17:00 | 病棟カンファ | 病棟業務 | 医局カンファ | 病棟業務 | 病棟業務 |
| 17:00-18:00 | | スタッフカンファ | 論文抄読会 | | 薬剤説明会 |

⑱ 青葉病院

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|--------------|------------------------|--------------|--------------|--|
| 9:00-12:00 | 外来診療 病棟診療 | 外来診療 病棟診療 | 外来診療 病棟診療 | 外来診療 病棟診療 | 病棟診療 |
| 12:45-13:00 | | | | | 全体連絡会議 (第1週目) |
| 13:00-16:00 | 病棟診療 | 病棟診療 行動制限最 小化委員会 | 病棟診療 | 病棟診療 | 病棟診療 症例検討会 (月1) 院長回診(月1) 医局会(月1) |
| 16:00-17:00 | 病棟診療 | 病棟診療 | 病棟診療 | 病棟診療 | レジデントカン ア レンス |
| 17:00- | | クルズス | | クルズス | |

⑳ 石越病院

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|------|------|--------------|---|------|
| 8:30-9:00 | | | | | |
| 9:00-12:00 | 病棟業務 | 外来業務 | 病棟業務 | | 病棟業務 |
| 14:00-15:00 | 外来業務 | 病棟業務 | 病院運営会議(月1回) | | 外来業務 |
| 15:00-16:00 | 外来業務 | 院長回診 | OT・DC会議(月1回) | | 外来業務 |
| 16:00-17:00 | | | 医局会 | | |

21 仙台市精神保健福祉総合センター

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|--------------|--|-----------------------|-------------------------------------|-------------------|
| 9:00-9:30 | 新規ケース 会議 | | | 地域ケー スレビュー | 医局会 |
| 9:30-12:00 | デイケア業 務 | 外来陪席 (デイケア) | デイケア ケース会議 | デイケア 業務 | 医師による 電話相談 |
| 13:00-15:00 | 外来陪席 (再来) | デイケア 業務 | 保健所での 精神保健福 祉相談 | デイケア 業務 | デイケア 業務 |
| 15:00-17:00 | 外来陪席 (再来) | 保健所担当 者との地域 精神保健福 祉活動連絡 会議 | 保健所と の協働訪問 | 精神医療 審査会 手帳・自 立支援医 療判定会 | 保健所と の協働訪 問 |

22 仙台市立病院

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|-----------------|------------------------------|-------------------------|--------------------------|--------------------------------|
| 8:30-10:00 | プレ回診 | プレ回診 | プレ回診 | プレ回診 | プレ回診 |
| 10:00-11:00 | 他職種カンファレンス・全体回診 | 他職種カンファレンス・全体回診 | 他職種カンファレンス・全体回診 | 他職種カンファレンス・全体回診 | 他職種カンファレンス・全体回診 |
| 11:00-13:00 | 病棟・リエゾン業務 | 病棟・リエゾン業務 | 病棟・リエゾン業務 | 病棟・リエゾン業務 | 病棟・リエゾン業務 |
| 13:30-14:00 | 入院カンファレンス | 入院カンファレンス | 入院カンファレンス | 入院カンファレンス | 入院カンファレンス |
| 14:00-16:00 | 病棟・リエゾン業務 | 病棟・リエゾン業務 臨床精神薬理セミナー(不定期) | 病棟・リエゾン業務 脳波判読指導(適宜) | 病棟・リエゾン業務 診断セミナー(不定期) | 病棟・リエゾン業務 総合病院精神医学セミナー(不定期) |
| 16:00-17:00 | 全体回診 | 全体回診 | 全体回診 | 全体回診 | 全体回診 |
| 17:30-18:30 | 医長からの指導 | 医療安全カンファレンス(月1回) | 医長からの指導 | 医長からの指導 | 医長からの指導 |

23 仙南サナトリウム

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|------------|------------|---------------|--------------------------------------|---|
| AM | 外来診療 陪席 | 外来診療 陪席 | 自己学習(東北大学精神科) | 認知症疾患 医療センター 業務 | 外来診療 陪席 |
| PM | 病棟業務 回診 | 病棟業務 回診 | | 病棟業務 回診 特養老人施設 知的障害施設 往診 | 第1: 医局会 ケースカンファレンス 第2: 医療安全管理 行動制限最小化 第4: 院内感染対策 |
| 17:30 以降 | | | | | 第3: 院内研修会 当直 (月2~4回) |

24 仙南中央病院

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|------|-----|------|-------------|------|
| 8:30-9:00 | | | | | |
| 9:00-12:00 | 病棟 | 病棟 | 新患予診 | 新患予診 | 出張可能 |
| 13:00-16:00 | 病棟 | 病棟 | 院長回診 | 病棟 | 出張可能 |
| 16:00-18:00 | カンファ | 医局会 | カンファ | デイナイト ケア | |
| 18:00-20:00 | | | | | |

25 千歳篠田病院

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|------|-------|------|------------|------|
| 9:00-13:00 | 外来業務 | 外来業務 | 外来業務 | 外来業務 | 外来業務 |
| 14:00-17:00 | 回診 | 講義・演習 | 回診 | 症例報告 演習 | 回診 |

26 台原高柳病院

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------------------|------------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|-------------------|------|
| 午前 | 外来陪席 | 外来陪席 | 外来陪席 | 外来陪席 | 外来陪席 | 外来陪席 |
| 13:00 13:30 | 医局会 新患紹介 症例検討会 (隔週) | | | | 全体会 (第4 金曜) | |
| 午後 | 病棟業務 カンファレ ンス | 病棟業務 カンファレ ンス | 病棟業務 カンファレ ンス | 病棟業務 カンファレ ンス | 病棟業務 デイケア | |

27 東北会病院

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--------|--|----|----------------------------|------------------------------------|-------------------------------|
| 午前 | 外来 | 外来 | 外来、開放(3 B)病棟カンファ レンス | 外来 | 外来 |
| 12:30～ | 医局会 | | | | |
| 午後 | 病棟、閉鎖(2 A)病棟カンフ ァレンス、療 養型(2B)病 棟スタッフ会 議 | 病棟 | 病棟 | 病棟 | 病棟、アルコー ル(3A)病棟カン ファレンス |
| 17:00～ | 院内事例検討 (奇数週) 災害支援会議 (偶数週) | | | 宮城県アディ クション研究 会(毎月第 1 木曜) | |

※午前中外来は、各曜日の常勤医新患に陪席(PSW インテーク面接⇒常勤医診察)

※当院内・連携カウンセリング機関で行っている各種プログラムスケジュールについては、別紙資料参照

※日直・当直業務あり。曜日・頻度は要相談。

28 東北福祉大学せんだんホスピタル

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|----------------|--------|---------------|----------------|---------------|
| 8:30-9:00 | 病棟カンファ | 病棟カンファ | 病棟カンファ | 病棟カンファ | 病棟カンファ |
| 9:00-12:00 | 外来・病棟 | 外来・病棟 | 外来・病棟 | 外来・病棟 | 外来・病棟 |
| 13:00-17:00 | 外来・病棟・ ECT | 外来・病棟 | 外来・病棟・ ECT | 外来・病棟 | 外来・病棟・ ECT |
| 17:00-18:00 | 医局会 | | | | |
| 18:00-19:00 | 医局勉強会 (不定期) | | | 症例検討会 (不定期) | |

29 緑ヶ丘病院

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|---------|--------------------------|---|---|------------------------|-----------------------------|
| 午前 | 外来診療（予診） 指導医診察陪席 | 外来診療（予診） 指導医診察陪席 | 外来診療（予診） 指導医診察陪席 | 外来診療（予診） 指導医診察陪席 | 自己学習もしくは 外来診察（継続 ケース） |
| 午後 | 心理検査陪席 外来診察 （継続症例） | 事業メンタルヘル ス陪席もしくは は地域カンファ レンス参加 外来診察 （継続症例） 自己学習 | 介護老人保健施 設診察陪席、 もしくは自立支 援・介護保険等の 審査等への陪席、 もしくは措置診 察陪席、 | 外来集団療法参 加、 自己学習、 | 症例検討 外来診察 （継続ケース） |
| 17:00以降 | | 抄読会 | | 外部講師講演会 参加 | |

30 いわき市立総合磐城共立病院

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|--------|--------|----------|--------|---------|
| 8:30-9:30 | ミーティング | ミーティング | ミーティング | ミーティング | ミーティング |
| 9:30-12:00 | 病棟回診 | 病棟回診 | (外来) | 病棟回診 | 病棟回診 |
| 13:00-16:00 | 家族面談等 | 家族面談 | (外来) | 家族面談 | 家族面談 |
| 16:00-17:15 | 病棟回診 | ミーティング | 勉強会 | 病棟回診 | カンファレンス |
| 17:30-19:00 | 症例検討会 | | カンファレンス等 | (GPC) | |

別紙 3 年間スケジュール

① 東北大学病院

| | |
|------|---|
| 4 月 | オリエンテーション 専攻医 1 年目 研修開始、新人講義開始 専攻医 2,3 年目 前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告提出 |
| 5 月 | |
| 6 月 | 日本精神神経学会学術総会参加 |
| 7 月 | 日本うつ病学会参加(任意) |
| 8 月 | |
| 9 月 | |
| 10 月 | 専攻医 1,2,3 年目 研修中間報告書提出 |
| 11 月 | 東北精神神経学会参加・演題発表 |
| 12 月 | 研修プログラム管理委員会開催 |
| 1 月 | |
| 2 月 | |
| 3 月 | 専攻医 1,2,3 年目 研修報告書作成 研修プログラム評価報告書の作成 日本統合失調症学会参加(任意) |

② いずみの杜診療所

| | |
|-----|---|
| 4月 | オリエンテーション、アルツハイマー病研究会参加、精神科臨床の会参加 |
| 5月 | 日本精神神経学会参加または演題発表、診療会議（事例検討会） |
| 6月 | 日本老年精神医学会参加または演題発表、宮城の認知症ケアを考える会講演会参加、精神科臨床の会参加 |
| 7月 | 診療会議（事例検討会） |
| 8月 | |
| 9月 | 診療会議（事例検討会） |
| 10月 | 精神科臨床の会参加 |
| 11月 | 東北精神神経学会参加または演題発表、診療会議（事例検討会） |
| 12月 | |
| 1月 | 診療会議（事例検討会） |
| 2月 | 精神科臨床の会参加 |
| 3月 | 総括的評価、診療会議（事例検討会） |

③ こころのホスピタル・古川グリーンヒルズ

| | |
|-----|---|
| 4月 | オリエンテーション/SR1 研修開始/SR2・3 前年研修報告書提出/指導医の指導実績報告提出 |
| 5月 | |
| 6月 | 日本精神神経学会学術総会参加 認知症疾患医療センター連絡協議会参加 |
| 7月 | |
| 8月 | |
| 9月 | |
| 10月 | SR1・2・3 研修中間報告書提出 |
| 11月 | 東北精神神経学会参加・演題発表 日本精神科医学会学術大会参加 |
| 12月 | |
| 1月 | |
| 2月 | |
| 3月 | SR1・2・3 研修報告書・研修プログラム評価報告書の作成 |

④ こだまホスピタル

| | |
|-----|--|
| 4月 | オリエンテーション |
| 5月 | |
| 6月 | 日本精神神経学会学術総会参加（任意） 日本老年精神医学会参加（任意） 日本リハビリテーション学会参加（任意） |
| 7月 | |
| 8月 | |
| 9月 | |
| 10月 | |
| 11月 | 日本病理学会参加（任意） |
| 12月 | |
| 1月 | |
| 2月 | |
| 3月 | |

⑤ 旭山病院

| | |
|-----|----------------------------|
| 4月 | オリエンテーション |
| 5月 | 日本精神神経学会学術総会参加、日本老年精神医学会参加 |
| 6月 | |
| 7月 | |
| 8月 | 宮城県精神科医会参加 |
| 9月 | |
| 10月 | 東北精神神経学会参加・演題発表 |
| 11月 | 日本精神科医学会学術大会参加 |
| 12月 | |
| 1月 | |
| 2月 | |
| 3月 | |

⑥ 花巻病院

| | |
|-----|---|
| 4月 | 新入医局員・研修医オリエンテーション |
| 5月 | 精神医学セミナー(不定期) |
| 6月 | CVPPP(包括的暴力防止プログラム)研修 日本精神神経学会学術総会参加 日本司法精神医学会参加 |
| 7月 | ARPプログラム研修 国立病院機構精神科レジデントフォーラム参加 |
| 8月 | |
| 9月 | 公開花巻病院セミナー |
| 10月 | 精神医学セミナー(不定期) |
| 11月 | 国立病院総合医学会参加 |
| 12月 | 精神医学セミナー(不定期) |
| 1月 | |
| 2月 | 認知症かかりつけ医研修会(不定期) |
| 3月 | 花巻フォーラム(公開研究発表) |
| | |
| その他 | テレビ会議クルズス(週1回) アルコール薬物関連問題勉強会(月1回) 退院事例紹介(週1回) 入院事例紹介(週1回) 刑事鑑定会議(随時) |
| | |

⑦ 釜石厚生病院

| | |
|-----|--|
| 4月 | オリエンテーション |
| 5月 | 日本自殺予防学会参加(任意) |
| 6月 | 日本精神神経学会学術総会参加 日本老年精神医学会参加(任意) |
| 7月 | 東北精神神経学会生涯教育研修会参加(任意) 日本うつ病学会参加(任意) |
| 8月 | 岩手県精神医会参加(任意) |
| 9月 | |
| 10月 | 東北精神神経学会生涯教育研修会参加(任意) 日本児童青年精神医学会参加(任意) |
| 11月 | 日本精神科医学会学術大会参加(任意) |
| 12月 | 日本認知症学会学術集会参加(任意) |
| 1月 | |
| 2月 | 岩手県精神医会参加(任意) |
| 3月 | 東北精神神経学会生涯教育研修会参加(任意) 日本統合失調症学会参加(任意) |

⑧ 岩手県立南光病院

| | |
|-----|---|
| 4月 | オリエンテーション 両磐精神医療連絡会開催 |
| 5月 | |
| 6月 | 日本精神神経学会参加 東北児童青年精神医学会参加 |
| 7月 | 両磐精神医療連絡会開催 |
| 8月 | 全国自治体病院協議会精神科特別部会参加 岩手県立病院医学会参加 一関夏祭り参加 |
| 9月 | |
| 10月 | 両磐精神医療連絡会開催 東北精神神経学会参加 |
| 11月 | |
| 12月 | |
| 1月 | 両磐精神医療連絡会開催 東北自治体病院精神科懇話会参加 |
| 2月 | |
| 3月 | |

主なものを表示しましたが、学会や研修会については希望によって随時参加が可能です。

⑨ 宮城県子ども総合センター

| | |
|-----|----------------------|
| 4月 | オリエンテーション |
| 5月 | |
| 6月 | 日本精神神経学会学術総会参加 |
| 7月 | |
| 8月 | 宮城県児童・思春期こころの臨床研究会参加 |
| 9月 | |
| 10月 | 日本児童青年精神医学会総会参加 |
| 11月 | |
| 12月 | |
| 1月 | |
| 2月 | 宮城県児童・思春期こころの臨床研究会参加 |
| 3月 | |

・当センターでは、企画育成班が、子ども達の教育、福祉、医療に関わる研修会を企画運営しております。興味のあるテーマの研修会への参加も可能です。

⑩ 宮城県精神保健福祉センター

| | |
|-----|-----------------|
| 4月 | オリエンテーション |
| 5月 | |
| 6月 | 日本精神神経学会学術総会参加 |
| 7月 | |
| 8月 | |
| 9月 | 精神保健指定医会議参加 |
| 10月 | 東北精神神経学会参加・演題発表 |
| 11月 | 宮城県精神保健福祉大会参加 |
| 12月 | |
| 1月 | |
| 2月 | |
| 3月 | 研修プログラム評価報告書の作成 |

⑪ 宮城県立精神医療センター

| | |
|-----|------------------------|
| 4月 | オリエンテーション(新入医局員／研修医合同) |
| 5月 | オリエンテーション(新入医局員／研修医合同) |
| 6月 | 日本精神神経学会参加 |
| 7月 | 精神療法勉強会参加 |
| 8月 | 職場のメンタルヘルス講演会参加 |
| 9月 | 依存症研修会参加 |
| 10月 | 県民公開講座参加 |
| 11月 | 東北精神神経学会発表 |
| 12月 | 司法精神医学勉強会参加 |
| 1月 | 精神保健指定医資格取得のための講座受講 |
| 2月 | 東北大学精神科・拡大卒後研修会発表 |
| 3月 | 研修プログラム評価報告書作成 |

⑫ 高松病院

| | |
|-----|-----------------------------|
| 4月 | オリエンテーション |
| 5月 | |
| 6月 | 日本精神神経学会総会参加 日本老年精神医学会参加 |
| 7月 | 認知症疾患医療センター研修会参加 |
| 8月 | |
| 9月 | 日本認知症予防学会参加 |
| 10月 | 東北精神神経学会総会参加 |
| 11月 | 認知症疾患医療センター研修会参加 |
| 12月 | |
| 1月 | |
| 2月 | |
| 3月 | 研修報告会 |
| その他 | 医師会等が開催する研修会に随時参加 |

⑬ 国見台病院

| | |
|-----|------------------------------------|
| 4月 | オリエンテーション |
| 5月 | CVPPP(包括的暴力防止プログラム)研修 |
| 6月 | 日本精神神経学会学術総会参加 |
| 7月 | |
| 8月 | 宮城県精神科医会参加 |
| 9月 | 半年後研修会(週1回、計13回シリーズ) |
| 10月 | 半年後研修会(週1回、計13回シリーズ) 東北精神神経学会参加 |
| 11月 | 半年後研修会(週1回、計13回シリーズ) |
| 12月 | 3年後研修発表会 |
| 1月 | 外部講師による院内講演会 |
| 2月 | |
| 3月 | |

⑭ 三峰病院

| | |
|-----|-------------------------------|
| 4月 | |
| 5月 | |
| 6月 | 日本精神神経学会学術総会参加 日本老年精神医学会参加 |
| 7月 | |
| 8月 | 日本精神科病院協会 地域精神医療フォーラム参加 |
| 9月 | |
| 10月 | |
| 11月 | 日本精神科病院協会 認知症に関する研修会参加 |
| 12月 | 日本認知症学会学術集会参加 |
| 1月 | |
| 2月 | |
| 3月 | |

⑮ 山形さくら町病院

| | |
|-----|---|
| 4月 | 新入医局員、研修医 オリエンテーション うつ病リワーク研究会(任意) |
| 5月 | 日本自殺予防学会(任意) |
| 6月 | 山形精神科医の会 参加 日本精神神経学会 参加 日本司法精神医学会(任意) |
| 7月 | 日本老年期精神学会(任意) |
| 8月 | 日本うつ病学会(任意) |
| 9月 | 中間研修プログラム評価 |
| 10月 | 東北精神神経学会 参加 日本精神科救急学会(任意) |
| 11月 | 山形心身医学研究会 参加 |
| 12月 | 日本臨床薬理学会(任意) |
| 1月 | 山形精神神経医学研究会 参加 |
| 2月 | 日本集団災害医学会(任意) |
| 3月 | 研修プログラム評価(総括) |

⑩ 春日療養園

| | |
|-----|-------------|
| 4月 | |
| 5月 | |
| 6月 | 日本精神神経学会 参加 |
| 7月 | |
| 8月 | 宮城県精神科医会 参加 |
| 9月 | |
| 10月 | 東北精神神経学会 参加 |
| 11月 | 日本精神医学会 参加 |
| 12月 | |
| 1月 | |
| 2月 | |
| 3月 | |

⑰ 小島病院

| | |
|-----|-----------------------|
| 4月 | オリエンテーション |
| 5月 | |
| 6月 | 日本精神神経学会学術総会参加 |
| 7月 | |
| 8月 | |
| 9月 | |
| 10月 | |
| 11月 | |
| 12月 | 研修プログラム管理委員会参加 |
| 1月 | |
| 2月 | 地方精神神経学会参加・演題発表 |
| 3月 | 研修報告書・研修プログラム評価報告書の作成 |

⑱ 上山病院

| | |
|-----|--------------------------|
| 4月 | オリエンテーション、施設体験見学 |
| 5月 | 市医師会参加 |
| 6月 | 日本精神神経学会学術集会参加、県精神科集談会参加 |
| 7月 | |
| 8月 | |
| 9月 | |
| 10月 | 東北精神神経学会参加 |
| 11月 | 県精神病理・精神療法研究会参加 |
| 12月 | 日本認知症学会参加 |
| 1月 | 県精神神経医学研究会参加・演題発表 |
| 2月 | 上山病院家族会総会参加 |
| 3月 | 県認知症学会参加 |

⑱ 青葉病院

| | |
|-----|--|
| 4月 | オリエンテーション 研修開始 |
| 5月 | 医療事故防止対策研修会参加(院内) |
| 6月 | 日本精神神経学会学術総会参加 日本老年医学会参加(任意) |
| 7月 | 日本うつ病学会参加(任意) 精神保健福祉法研修会参加(院内) 日本睡眠学会参加(任意) |
| 8月 | |
| 9月 | 日本生物学的精神医学会参加(任意) |
| 10月 | 日本児童青年医学会参加(任意) 日本認知・行動療法学会参加(任意) 日本てんかん学会参加(任意) 日本臨床精神神経薬理学会参加(任意) |
| 11月 | 医療事故防止対策研修会(院内) |
| 12月 | |
| 1月 | |
| 2月 | |
| 3月 | 日本統合失調症学会参加(任意) |

⑳ 石越病院

| | |
|-----|----------------|
| 4月 | |
| 5月 | |
| 6月 | 日本精神神経学会学術総会参加 |
| 7月 | |
| 8月 | 生涯教育研修会参加 |
| 9月 | |
| 10月 | 東北精神神経学会参加 |
| 11月 | |
| 12月 | |
| 1月 | |
| 2月 | |
| 3月 | 生涯教育研修会参加 |

21 仙台市精神保健福祉総合センター

| | |
|-----|--|
| 4月 | オリエンテーション |
| 5月 | ひきこもり講演会開催(当センター主催) |
| 6月 | 日本精神神経学会学術総会参加 統合失調症臨床研究会参加 |
| 7月 | |
| 8月 | 宮城県精神科医会参加 |
| 9月 | 宮城県・仙台市精神保健指定医会議参加 デイケア祭開催 |
| 10月 | 日本児童青年精神医学会総会参加 日本精神病理学会参加 東北精神神経学会総会参加 |
| 11月 | |
| 12月 | |
| 1月 | |
| 2月 | 東北大学精神科・拡大卒後研修会参加 |
| 3月 | 日本社会精神医学会参加 |

22 仙台市立病院

| | |
|-----|---------------------------|
| 4月 | オリエンテーション |
| 5月 | 宮城精神科・救急懇話会参加 |
| 6月 | 日本精神神経学会総会参加 |
| 7月 | |
| 8月 | |
| 9月 | 東北精神神経学会総会参加・演題発表 中間評価 |
| 10月 | 臨床精神薬理学会参加(任意) |
| 11月 | 総合病院精神神経学会参加・演題発表 |
| 12月 | |
| 1月 | |
| 2月 | 東北大学病院精神科拡大卒後研修会参加・報告 |
| 3月 | 研修プログラム評価報告書の作成 包括的評価 |

23 仙南サナトリウム

| | |
|-----|--------------------------|
| 4月 | オリエンテーション |
| 5月 | 院内研修会 |
| 6月 | 日本精神神経学会 参加 院内研修会 |
| 7月 | 院内研修会 |
| 8月 | |
| 9月 | 認知症疾患医療センターセミナー 院内研修会 |
| 10月 | 東北精神神経学会 参加 院内研修会 |
| 11月 | 院内研修会 |
| 12月 | |
| 1月 | |
| 2月 | 東北大学精神科・〇〇卒後研修会 院内研修会 |
| 3月 | かかりつけ医認知症対応研修会 院内研修会 |

24 仙南中央病院

| | |
|-----|--------------------------|
| 4月 | オリエンテーション、初期講義、ベースライン評価 |
| 5月 | |
| 6月 | 日本精神神経学会参加 |
| 7月 | |
| 8月 | |
| 9月 | |
| 10月 | 中間講義、アンカーポイントフィードバック |
| 11月 | 地方精神神経学会演題発表 |
| 12月 | |
| 1月 | |
| 2月 | |
| 3月 | 総括講義、総合評価、エンドポイントフィードバック |

25 千歳篠田病院

| | |
|-----|-------------------------|
| 4月 | オリエンテーション・地域特異性の理解 |
| 5月 | 篠田総合病院および天童温泉篠田病院との診療協力 |
| 6月 | 日本精神神経学会学術総会参加 |
| 7月 | 脳波・心電図検査技術研修 |
| 8月 | |
| 9月 | |
| 10月 | 東北精神神経学会参加 |
| 11月 | 山形県精神病理・精神療法研究会参加・発表 |
| 12月 | MRI・CT 検査技術研修 |
| 1月 | 山形県心身医学研修会参加 |
| 2月 | 研修プログラム評価報告書作成・指導 |
| 3月 | 山形県精神科医の会参加・発表 |

26 台原高柳病院

| | |
|-----|-----------------|
| 4月 | オリエンテーション |
| 5月 | |
| 6月 | 日本精神神経科学会学術総会参加 |
| 7月 | |
| 8月 | |
| 9月 | |
| 10月 | 精神神経学会地方会 |
| 11月 | |
| 12月 | |
| 1月 | |
| 2月 | |
| 3月 | |

27 東北会病院

【年間計画】

半年間はアルコール(3A)病棟に就く。

1年の研修予定の場合、残りの半年は選択制(アルコール病棟継続も可)。

28 東北福祉大学せんだんホスピタル

| | |
|-----|----------------------|
| 4月 | オリエンテーション |
| 5月 | |
| 6月 | 日本精神神経学会参加 |
| 7月 | |
| 8月 | 宮城県児童・思春期こころの臨床研究会参加 |
| 9月 | 日本児童青年精神医学会参加 |
| 10月 | 東北精神神経学会参加 |
| 11月 | |
| 12月 | |
| 1月 | |
| 2月 | 宮城県児童・思春期こころの臨床研究会参加 |
| 3月 | |

29 緑ヶ丘病院

| | |
|-----|--|
| 4月 | オリエンテーション/SRI研修開始/SR2・3前年研修報告書提出/指導医の実績報告書提出 |
| 5月 | 教室研究会/県精神科集談会参加 |
| 6月 | 日本精神神経学会学術総会 |
| 7月 | |
| 8月 | |
| 9月 | 県精神科集談会参加 |
| 10月 | 教室研究会参加/SR・1・2・3研修中間報告書提出 |
| 11月 | 地方精神神経学会参加・演題発表 |
| 12月 | 研修プログラム管理委員会参加 |
| 1月 | |
| 2月 | 地方精神神経学会参加・演題発表 |
| 3月 | SR1・2・3研修報告書・研修プログラム評価報告書の作成 |

30. いわき市立総合磐城共立病院

| | |
|-----|------------------|
| 4月 | オリエンテーション |
| 5月 | |
| 6月 | 日本精神神経学会学術総会参加 |
| 7月 | |
| 8月 | 日本うつ病学会総会参加 |
| 9月 | |
| 10月 | 東北精神神経学会 参加・演題発表 |
| 11月 | 日本総合病院精神医学会総会参加 |
| 12月 | |
| 1月 | |
| 2月 | |
| 3月 | 日本統合失調症学会参加 |